

グッチョ

Guccho

“何かをし合う”意味の筑後弁！

〇〇し合えるまちへ。「支えぐっちょ」「つながりぐっちょ」な人や取り組みを紹介する地域福祉マガジン

VOL. 16

担当
者
コ
ラ
ム
小
学
生
4
人。
グ
ッ
チ
ョ
を
調
べ
た



北野小の総合学習で | Comprehensive study at
Kitano Elementary School

ある日、地域福祉課の電話が鳴りました。電話の相手は北野小学校の先生。「子どもたちがグッチョについて調べていて」。苦節1年。こんなにうれしい日が来るとは。

職員室を訪ねた私を岡先生と児童が出迎えてくれました。「今日は暑い中ありがとうございます」。2人に案内されて教室へ向かいました



突然の依頼 「話を聞きたい」

「秋山さんはたくさんグッチョを書いている」「できるだけたくさんさんのことを調べたかった」――。

グッチョ創刊から1年、延べ閲覧数は3万を超えました。そんな中、うれしい出来事がありました。

6月下旬、北野小学校で4年生の担任を務める岡美紀先生から電話がありました。聞けば、授業で身体障害をテーマに、4、5人の班で調べて発表する予定で、ある班にグッチョの14話「ヒーロー誕生の背景に聴覚障害」(*)を見せたら興味を持ち、話を聞きたいと言っているのだそう。

当然、二つ返事で承諾。Zoom越しに、私がグッチョへの思いや記事の狙いを

話しました。さらに障害者福祉課の職員も同席し、久留米市が行う身体障害者への支援や担当課の思いを伝えました。

ここで終わらないのがグッチョ。子どもたちがどのようにまとめていくのか、気になって仕方がない。「みんなを取材に行ってもいいかな？」と聞くと、子どもたちから「やったー」と歓声が。学校の許可も下りて、成果発表会のリハーサルにお邪魔することになりました。

障害のある暮らしを感じた学習

取材当日、教室では発表で使うスライドや模造紙の準備が進んでいました。具体的に何を調べたのか、作業中の子どもたちに話を聞くと、単純に障害のことを調べるのではなく、「仕事」「スポーツ」「移動手段」「道具」「生活環境」など、暮らしや身の回りのことを深掘りしていました。

「手足が動かなくてもできる仕事がたくさんある。働きたいと思っている」「スポーツでも車いすを使う競技もあれば、義手や義足でやるものもある」「音の大きさを表す(デシベル)を調べた。聴覚障害は聞こえるか、聞こえないかだけではないことを知ったから」。他の班も、手話をダンスに乗せて伝えようとしていたり、点字を覚えやすくするのにクイズ形式にしたり。私の質問に自分なりの言葉で説明する子どもも



障害者スポーツを調べた班。義手よりも義足の開発にスポットが当たりやすいことを指摘しました



共有した発表用のスライドをそれぞれの端末から編集。デジタル機器を使いこなしています

(※)ランドセルに聴覚障害を表す耳マークを貼っている小学1年生と両親の思いを取り上げた。記事はQRコードから





(上) 点字を覚えるため、模造紙で資料を手作り。母音と子音の組み合わせの法則も書いています(左) 移動手段である自動車の事を調べた班は、「未来の車」を考案。声だけで走らせることができる車があれば「体が思い通り動かなくても運転できて助かると思いました」(下) 車いすの暮らしを調べた班は、困る場面を調べ、それに対してどうすれば解決できるか考えました



ち。【障害のある日常や暮らし】を実感できているようでした。

特別なことでも他人事でもない

表紙の4人はグッチョを深掘りしてくれた班のメンバーです。取材する私を質問責め。「最初に書いた記事は」「なぜこの記事を書こうと思ったんですか」「グッチョを出す目的は何ですか」と、なかなか鋭い。君たちは記者か。私の答えを受けて発表スライドを修正。「グッチョとは」「グッチョの思い」など、全6枚のスライドにまとめました。冒頭のコメントは「秋山さんのインタビュー」というスライドのものです。

最後に「グッチョには、これからどんな人を取り上げるのですか」と聞かれ、「どんな人でもいいと思う。障害があっても、暮らしが苦しくても、認知症になっても、みんなこの久留米で暮らす人。その中で(何かをし合う物語)を書いて(いいな)とか(大切なな)と感じてもらえればうれしいよ」と答えました。

困り事や生きづらさの原因は障害や病気ではなく環境や配慮に。だから他人事ではありません。まどめのスライドに「障害を特別なことと思わない」という言葉。「ああ、きつと伝わってるなあ」と、またにんまりする私でした。(担当・フトシ)



グッチョを調べてくれた、平田慧心くん、本松友理奈さん、松崎帆奏さん、立石花恋さん。発表もスライドも素敵でした



手話をダンスに取り入れた動画を見ながら振り付けを練習する班のメンバー。手話に触れるきっかけになりそう



どの班のまとめも素晴らしかった。感動した！

\地域福祉マガジン/ 久留米市役所 地域福祉課
〒830-8520
久留米市城南町15-3
☎0942-30-9175
Fax0942-30-9752

グッチョ
Guccho